



3月定例会等の概要

平成27年3月定例会は、3月2日に開会し、24日間の会期で25日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の報告4件、諮問1件、同意案2件、条例案21件、予算案26件、その他4件、計58件、請願4件、その他8件、合計70件が上程されました。

その内、請願第19号、第20号が継続審査となり、請願第17号、第18号は不採択、その他の案件については原案のとおり可決等されました。

また、平成26年3月定例会より閉会中の継続審査となっていた請願第6号、第7号の2件は、審議未了となりました。

【3月定例会日程】

会議日	会議別	会議内容
2日(月)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
5日(木)	本会議	一般質問(5名)
9日(月)	本会議	議案に対する質疑
	委員会	総務委員会
10日(火)	委員会	民生文教委員会
11日(水)	委員会	産業建設委員会
12日(木)	委員会	予算特別委員会
13日(金)	委員会	予算特別委員会
16日(月)	委員会	予算特別委員会
	委員会	予算特別委員会
18日(水)	委員会	議会改革特別委員会
	委員会	行財政問題特別委員会
	委員会	行財政問題特別委員会
25日(水)	本会議	委員長報告 討論、採決

※次回定例会は6月に開催の予定です。

市政をただす 一般質問



今定例会では、5人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたしました。

質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。

なお、掲載は質問順、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

一般質問者			
No	質問者	No	質問者
1	新宮 康史	4	佐々木 加代子
2	遠藤 素子	5	河野 裕保
3	西山 一規		

会議の詳しい内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。



新宮康史議員

質問事項

- 1 認知症対応について（街ぐるみで安心、住みよい優しい街に）
- 2 教育関係に関する件について
- 3 子ども・子育て支援新制度について
- 4 市の施策に対する市民の要望について

認知症対応について（街ぐるみで安心、住みよい、優しい街に）

問 政府の「認知症施策推進総合戦略」を受けて、どのように対応、また義務教育のうちから一人ひとりの思いを支える認知症教育をすべきたが15年度の教育計画に盛り込めないか。

答 市も安心して暮らせる八幡浜を目指し、出前講座や認知症サポーター養成、徘徊SOSネットワーク事業、見守り事業を実施する、また、計画盛り込みは校長会等で検討する。

教育に関する件について（道徳の教科化）

問 今年2月、文科省は道徳の教科化のための学習指導要領改訂案を公表した。今までと異なる点は、自ら考え、理解し、主体的に取り組み、社会的な問題を多方面で考える、またいじめ抑制も配慮されている、今後の道徳教育の成否は教員の資質がキーポイントになると考えるが、どのように広く一般社会の課題解決能力等教育していくつもりか。

答 昨年度、今年度と松柏中で文科省指定の道徳研究会、また愛宕中でも人権同和教育研究会を実施しており、市の道徳教育は十分やれると思っているが、形骸化され、ないがしろにされたり、他の強化にすり変わらぬように、全ての学校、全職員で取り組み。

市の施策に対する要望について

問 市役所（八幡浜庁舎）1階（市民課、社会福祉課）フロアーに高齢者、身障者用配慮を。

今後の高齢者率上昇、身障者の方への配慮も考えて、1階フロアーはカウターの高さを低く変更し、椅子で対応できるようにしたらどうか。

答 証明申請用台を低く車椅子対応にしたり、医療相談窓口も座って出来るように改修したが、全面、ローカウター化に前向きに取り組みたい。

問 大島の緊急用船便（特船）活用の利便性向上について。市の緊急用船はよほどの事がないと使えない、公民館行事など行事参加の際、交通費の心配せずに参加ができるよう配慮して欲しい。

答 島民の方に実情や要望を聞いて対応したい、公民館交通費で不足であれば実績を見て検討する。

問 温浴施設整備事業について。市民が注目している、また、地区の人にとっては渴望事業である。工事の進捗状況をひと目でわかるように現場の情報開示板の工夫、市HPへの掲載等市民がタイムリーにわかるようにして欲しい。

答 2月末で326m、1日7〜8mぐらいである、前向きに検討する。



遠藤素子議員

質問事項

- 1 暮らし・福祉最優先の市政へ
- 2 原発に依存しない地域循環型のまちづくりを

暮らし、福祉最優先の市政へ

問 昨年4月から消費税が8%になり、年金は減る中で市民の暮らしは大変厳しい状況になっている。それもそのはずで、高齢者のため、社会保障のためといって導入された消費税のほとんどが大企業への減税に回っている。1989年に導入されて以来の消費税の累計総額は304兆円にのぼるが、その間に大企業に減税された総額は263兆円と85・6%にもおよび、真面目に生きてきた人々の暮らし向きは、良くならない。そこで何うが、市民の暮らしの厳しさ、窮状をどのように捉えているか。

答 市民の暮らしの厳しさは、有効求人倍率にも表れている。八幡浜管内の倍率は、最も厳しくなっている。

問 このような状況下で、市は、国の悪政から住民の命と暮らし、福祉を守る防波堤の役割を果たすべきだと思うが、今後どのような努力をするつもりか。

答 生活困窮者への対策としては、「生活困窮者自立支援法」が平成27年度から施行される。当市では、1年前倒しし、平成26年度にモデル事業を社会福祉協議会に委託して実施している。その中で、関係機関等による座談会や研修会を開催し、また社会福祉協議会と協働、連携して、生活困窮者を支援できるネットワークづくりの構築を図っている。また、民生委員の協力を得て、実

態調査を実施している。これらを踏まえて、生活困窮者に対する自立相談支援事業を実施することにより、困っている方々が社会に埋もれることなく生活できるように支援する。

原発に依存しない地域循環型の街づくり

問 原子力規制委員会は、鹿児島県川内原発1・2号機に続いて、関西電力高浜原発3・4号機の規制基準の審査に適合と発表された。次は、伊方原発で審査結果が出されるのではないかと、事態は大変緊迫してきた。しかし福島の原発事故の現実、再稼働が許されるような状況ではない。事故から4年、事故現場には近づけず、原因の究明はできていない。原因の究明もないうまま、どうして安全に対する規制基準が出せるのか。12万人の避難住民は、先の見通せない暮らしを余儀なくされ、自殺者が年々増加している。これらの事実から、私たちは何を学んだのか。人間と核は共存できないということではなかったか。安心して住み続けられる故郷を子どもたちに引き継ぐために、どの道を選択すべきかが問われている。原子力規制委員会から、適合の判断が下された時、市はどのように対応するか。

答 国及び原子力委員会の説明や、議会・市民各層の意見を踏まえて、当市としての判断をしたいと考えている。



西山一規議員

質問事項

- 1 南海トラフ地震に対する津波一時避難場所の整備について
- 2 八幡浜市ホームページのリニューアルについて

平成24～25年度の愛媛県緊急津波対策推進事業の実施総額、そのうち太陽光外灯設置の価格はいくらか。機種選定の経緯と設置を11箇所とした理由は何か。

問 現地確認すると避難場所の表示が無い所があるが、今後整備されるのか。

答 総額8044万5575円、太陽光外灯は工事込み一基約155万円である。機種選定の経緯は、普段は避難場所把握のために省力点灯、非常時震度5相当で最大電力での点灯をするものを採用した。設置箇所は、避難路整備を優先し、残りの予算で対象人口が多い11箇所太陽光外灯を設置した。避難場所110ヶ所のうち表示板は80箇所設置。残りは補助金等を活用しているが、無ければ市単独事業として対応したい。

問 夜間の津波避難に対して今後の整備予定はあるのか。

答 具体的な予定は無いが、要望があれば対応を検討したい。

問 家庭用で、停電時に光る非常灯や人が近くと光るセンサーライトが安く売られているが、そういうものを一定間隔で設置すれば避難場所まで逃げられる。地元から要望があったら対応していただきたい。

答 高知県など先進地でそういうものが採用されているか勉強したい。夜光塗料なども含めて検討してみたい。

八幡浜市ホームページリニューアル

問 平成26年11月に市のホームページがリニューアルされたが、市民や行政に対してどのような利点があるのか。そして追加された情報、削除された情報にはどのようなものがあるのか。

答 ホームページリニューアルには約1年をかけ、開発費を抑えるため無料ソフトを利用し、構成・レイアウトなど全て職員が行った。文字サイズ変更などバリアフリー機能、スマートフォンや携帯向けに自動的に変換する機能、イベントカレンダーなどが加わり、市民にとっても外部の人にとっても利用しやすくなった。理事者にとっても更新作業に専門知識が無くても容易に行えるようになった。掲載情報は、削除したものはない。追加情報としてメール問い合わせ先、世帯・人口情報を古いデータも合わせて閲覧可能とした。今後は各課からの直接発信など運用面での改善・強化にも努める。

問 市民から画像・文字を投稿できれば八幡浜市の今を伝えることができ観光面でも有利。非常時には避難所の状況や安否確認にも活用できるがどうか。

答 マイナス面もあり研究してみなければならぬ。



佐々木加代子議員

質問事項

- 1 防災への取り組みについて
- 2 地方創生の取り組みについて

防災への取り組みについて

問 防災行政無線音声自動応答システムが導入された。防災無線が聞きとりにくいとの市民の声に対して、戸別受信機設置までの応急処置として導入されたものであるが、広報が進んでおらず周知徹底の意味においても電話番号の記載されたシールを配布してはどうか。又、各公民館からのコミュニティ放送についても聞きとれるシステムの導入を検討してはどうか。

答 音声自動応答システムの電話番号シールについては考えていない。又、公民館からのコミュニティ放送については、放送設備の改修、新規設置が必要になる。コミュニティ放送のあり方については、防災行政無線のデジタル化に合わせて検討していく。

問 戸別受信機設置については何年後を予定しているのか。概算で約10億円かかる戸別受信機の設置ではなく、八西CATVを利用した防災情報の提供はできないのか。

答 防災行政無線のデジタル化、戸別受信機の整備には3年から5年の期間が必要。又、現在の八西CATVの機能ではテレビのスイッチを入れていなければ情報が伝わらないなどの根本的な問題があるため防災行政無線のデジタル化での検討を進めている。

地方創生の取り組みについて

問 地方創生に関連する予算において当市に交付される金額とこの交付金を活用してどのような事業を予定しているか。

答 地域消費喚起、生活支援型として、8583万6000円、これについては県と共同で発行する商品券で使用する予定。この他に地方創生先行型の交付金として、6301万1000円交付される。この交付金は、ミカン産業の支援及び地域特性を生かした広域交流観光推進事業という名前で事業を予定している。具体的には、旧舌田小学校を改修し、ミカンの里アルバイター事業や当市にゆかりの深いスポーツ施設を実施する上での宿泊、合宿施設としての利用促進を図ろうと考えている。

問 当市におけるプレミアム付き商品券の販売枚数、販売単位、販売期間は。

答 1セット千円券を6枚、計6千円分を5千円で販売、総数4万5千セットを販売する予定。県の販売分より1ヶ月程度遅らせて、年末まで利用できるようにしたい。

要望 取り組み方次第で万倍もの経済効果が生まれる。公平性を保ちつつしっかりと検討していただきたい。



河野裕保議員

質問事項

- 1 戦後70年の感想について
- 2 緊急経済対策について
- 3 八幡浜市の産業成長力について
- 4 地域資源の活用による産業化の促進について
- 5 移住者受け入れ施策について
- 6 少子化対策について
- 7 合計特殊出生率の目標数値の設定について
- 8 地方版総合戦略策定の心構えについて

緊急経済対策について

問 安倍内閣は、緊急経済対策の目玉として、二種類の交付金合わせて4200億円の補正予算が2月4日に可決成立した。その内、1700億円は、地方活性化に繋げる地方創生先行型である。主な事業は、企業誘致、都市部の経験豊かな人材の受け入れ助成、U・J・ターンの促進他に当てることとができるとされている。本市は、事業計画を練り上げ国・県から交付決定により、9412万3千円の補正予算を計上している。地方創生先行型交付金の情報把握の時期及び当該事業実施計画決定のプロセスは。

答 今回の新しい交付金に関する情報は昨年11月末、県から入った。市長指示のもとで、対象事業を調整し準備を進めてきた。1月14日、県庁での説明会で交付金の内容、概算額などが示され翌日から検討作業を進めてきた。作業は27年度当初予算に計上する事業や、来年度以降実施する予定の事業の前倒し可能なもの、今回実施することにした簡易宿泊・合宿施設の整備を含め、合計168の事業候補リストを作成した。みかん、魚といった「素材別」、雇用創出子育て支援といった「目的別」に整理し、必要性優先順位等検討し、最終的に八幡浜らしさを加味し、地方創生の目的に適う事業計画の立案が出来たと考えている。

地方版総合戦略策定の心構えについて

問 地方版総合戦略は、事業ごとに件数金額など具体的な成果目標を設定することになっている。計画・実行・評価・改善を繰り返す「PDCAサイクル」によって政策効果を検証する。企業のように成果主義を導入する。国は、これまでのように、ああしろ、こうしろとメニューを示さず、地方自らアイデアを出し、事業計画を立て実行する。それによって予算を付けると言っている。地方の自立を促しているのだ。真剣勝負が始まり、オール八幡浜市で臨まなければならぬと考える。地方創生の取組み次第で、勝ち組と負け組が出てくること十分予想される。地方の生き残りを賭した、地方版総合戦略策定に際しての心構えは。

答 今回の地方創生は、地方自らが知恵を絞り、汗をかくて取り組むべきであり、石破地方創生大臣は、「国として一生懸命頑張る自治体を応援する」との姿勢を強調している。裏を返せば頑張らない、知恵を出さないうことであり、まさに真剣勝負の時代になってきたと認識している。各界各層から幅広く意見を頂きながら、市民の意向を考慮し、未来に繋がる戦略を立案し、PDCAが機能する検証体制もしっかり整えていきたい。

総務委員会報告

樋田 都 委員長

第3次八幡浜市行政改革大綱の策定について

要望 人口減少や少子高齢化による人口構成の変化などについても、行政改革の課題として取り入れて行くとの説明であったが、八幡浜市の人口は10年後の平成37年には、3万555人で高齢化率は42・4%になり、児童数も平成17年に合併した時と比べると半数以下になるとの予測がある。こういった危機的状況である人口減少問題の深刻度を真剣に受け止めて、この問題について集中して取り組んでいくべきである。

問 人口減少問題のプロジェクトチームを立ち上げ、日本全国の市町村で行なわれている事例等も参考にしながら、具体的な施策を一つ一つ作り上げて真剣にこの問題について取り組んで行くべきではないか。

答 人口問題は、国の地方創生の中でも重要な課題として位置付けられている。今後、市が作成する地方版総合戦略の作成にあたり、産官学金労言といった幅広い分野の方にご参加いただき策定に係る推進組織を整え、人口問題に焦点をおいた取組が出来るよう、色んな方の意見を参考にしていきたい。

生活バス路線維持・確保対策事業費補助金に関連して

問 高齢化が進む中、誰もが安心して病院、買い物に行けるような安全安心なまちづくりを目指して行くには、市内全体を対象と

した公共交通機関が必要である。近年、全国各地で運行している市内循環バス等を導入する計画はないか。

答 市内の生活バス路線は、2社が根幹となる路線を運行している。この路線以外の地域で以前にバス路線が通っていたところを対象として、要望が多い地区についてデマンド型乗合タクシーを運行している。市内循環バスについては、定時刻に運行したとしても空運行、もしくはごく少ない乗客での運行が予想される。

利用者が申し込んだ時だけの運行であるデマンド型乗合タクシーは、経費的な面でも効率が良いため現時点ではこの取り組みで生活交通網を整備して行くことが望ましいと考えている。

番号制度システム改修委託料について

理事者説明 平成27年10月から個人番号を国民に通知し、平成28年1月から個人カードを発行する。当市では、8000万から9000万円の改修費用がかかるの見込まれ、現在のところ約7200万円を予算化し、システム改修を行う。その後、連携させる作業が必要であり、残りの費用を予算計上することになる。

指摘 個人情報漏えいのリスクが非常に懸念される。情報管理には万全を期して対応するよう。

請願第19号、請願第20号については、閉会中の継続審査となり、今後、請願者あるいは紹介議員の説明を委員会において聴取し、慎重に審査して参りたい。

民生文教委員会報告

石崎 久次 委員長

介護保険条例の改正について

問 八幡浜市の介護保険料はいくらになるのか。

答 平成27年度から29年度の期間中、月額5187円に改正するものである。また、平成26年末で約1億9000万円の基金残高となる見込みであるため、このうちの1億を取り崩して保険料を軽減する財源にあてるものである。

通学費補助金交付の改正について

問 一部の地域において乗車地から学校までの全区間の助成ではなかったようだが、規則で定められているのか。

答 条例の中に一部地域においては保護者負担を求めると定められている。今回の改正により保護者負担をなくすものである。

問 バスの運行は、土日になると学校が休みだから減っている現状がある。中学校になれば部活動もあるが、バスの運行に対する将来的な展望はどうなっているのか。

答 バスの運行は、土日はそのようになっていると認識しているが、現状では部活動は出来ていると思っている。今後、日曜日等に学校行事がある際等、事前に連絡をすれば運行してもらえるよう要望している。

大学女子ソフトボール大会について

問 前年度より補助金が増設されているが、どういう理由で増額されたか。

答 大学女子ソフトボール大会は3日間の日程で開催し、大会初日に歓迎レセプションを予定している。全国から多くの選手やスタッフを迎え、八幡浜市の良さをPRする絶好の機会でありながら、歓迎レセプションの料理は揚げ物中心で、八幡浜市らしいものがないと指摘があった。そこで、来年度の大会は、八幡浜市らしいミカンと魚を使った郷土料理のようなものを提供できないかと考え、どのような料理が参加者に喜んで頂けるか八幡浜市食生活改善推進協議会の知恵を借りながら検討している。大会補助金の増額分は全て八幡浜市らしい料理を提供するための費用である。ちなみに増額費用は10万8000円である。



産業建設委員会報告

遠藤 素子 委員長

みかんの里宿泊・合宿施設整備工事費について

理事者説明

地方創生先行型交付金事業で、閉校となった舌田小学校を改修して宿泊所を整備し、みかんアルバイターやマウンテンバイク、大学女子ソフト大会などの宿泊滞在を容易にすることで、みかん農家の労働力確保、スポーツイベントの規模拡大により、地域の活性化を目指すものである。

問 観光振興の分野に重きを置くべきではないか。

答 そういう面でも利用いただけるものと思っている。しかし、市内のホテル業の圧迫とならないよう、市や地域が企画したイベントや大規模な大会で市内のホテルの収容枠をオーバーしそうな時、また、大洲青年自然の家のような研修などにも利用したいと考えている。

問 真穴地区の場合、現在ホームステイでアルバイターを受け入れており、舌田地区の宿泊となると毎日の送迎も大変になるため、この施設は利用されないのではないか。

答 真穴地区も高齢化でアルバイターのホームステイが負担になっていく方も多くなっている。また中には、ホームステイは苦手なので、施設があれば利用したいとの声もあり、全く利用がないとは思わない。距離的な問題については、車の手配など農協に協力をお願いしたいと考えている。

王子の森公園整備事業について

理事者説明

愛媛国体に向け王子の森公園の改修を行っているが、王子の森公園は工場跡地であることから、施行中、工場の基礎などが出たことと、全国的に不足する型枠大工の手配に不測の日数を要し、年度内完成が見込めなくなった。

問 がれきの撤去や産廃処理、その後のグランド整備に余分な費用や日数が必要になってくると思うが、契約金額の変更は行ったのか。また、工期はどうなっているのか。

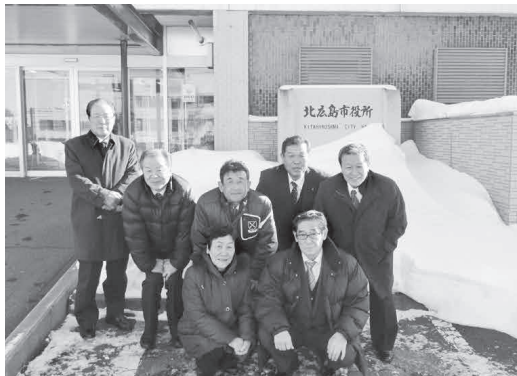
答 産廃処理等の費用も含めた変更契約を行っている。工期については、ソフトボール協会から今年7月に試合があると聞いているため、それに間に合うよう計画を立て進めている。

公共下水道事業特別会計補正予算について

問 現在の公共下水道の整備率と接続率は、どうなっているか。

答 平成26年4月1日現在の整備率は八幡浜処理区と真穴処理区は100%、保内処理区は91・6%である。接続率については、八幡浜処理区93・5%、真穴処理区89・8%、保内処理区55・1%、全体で84・1%となっている。

行政視察報告

委員会別	議会運営委員会	産業建設委員会
視察日	2月19日～2月20日	2月4日～2月6日
視察先	<ul style="list-style-type: none"> ○広島県府中市 議会改革について 議会運営全般について ○山口県柳井市 議会運営全般について 	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道北広島市 まちなかの商業活性化の取り組みについて ○北海道小樽市 小樽港将来ビジョンについて
視察風景	 <p>府中市</p>	 <p>北広島市</p>

予算特別委員会報告

新宮 康史 委員長

市職員の給料に関連して

問 私の調査では、2013年度の八幡浜市の一般行政職268名平均年齢が42・6歳、平均給与が42万3569円で、県内で1番高い。また、正職員、臨時職員、嘱託職員、個人への委託を含めた人件費総額が60億円、施設事務組合を含めると70数億円になる、市の平均給与と県内ランキング、3年間の推移、人件費の総額についてどのようになっているか。

答 市職員の給与ランキングは、ラスパイレス指数という指数を用いて比較されるが、それによると県内で4番目となる。これは3か年の推移でも変動はない。

一般行政職の平均給料は平均年齢42・6歳で32万8619円、愛媛県は平均年齢が44・8歳で34万9312円、類似市では平均年齢42・8歳で32万2051円である。また、給料に諸手当を含む平均給与は42万3569円である。人件費の総額は、一般会計で正職員、臨時職員、嘱託職員、個人の委託をしているものを合わせて約34億円。そして、特別会計で約2億9000万円、水道会計、病院会計を合わせて24億円。合計で60億円となる。それに施設事務組合を加えると総額で約70億円となる。

なお、一般行政職員平均給与42万3569円については、平成25年4月、一ヶ月分だけの平均給与月額であり、その内、時間外手当が他市と比較して高かったことによるもので、その要因は、この月に実施され

た市長選挙、みなつとのオープンによるものである。

要望 八幡浜市の市勢から考えると市内他団体と比較しても市職員の給与は高い。反省して頂き、市長にもお伝え願いたい。

電源立地促進対策交付金返還金について

問 この返還金の内容の詳細はどのようなものか、また、原子力立地給付金との関連はあるのか。

答 この返還金については、合併前に旧保内町では電源立地促進対策交付金が交付されており、磯崎小学校をこの交付金で改修した。しかし、建物の耐用年数が来る前に(株)UFCプロダクツに貸与したので、国に対して交付金の返還が生じており、平成21年度から平成39年度まで貸付額分を返還するものである。

一方、原子力立地給付金は電源立地地域対策交付金の一つで、旧保内町の電気使用契約者を対象に交付算定されているものであり、市の公共施設にも割合に応じた額が毎年交付されている。

問 合併して10年が経過し、旧八幡浜市も既に同一行政区になつているので、未だに対象となつていない旧八幡浜市も同様に交付対象と認められるように、国、県等に対して働きかけ、努力することが行政の仕事ではないのか。

答 これは国が定める電源立地地域対策交付金交付規則に基づき交付額が算定されるものであり、八幡浜市だけの問題ではない。これまで市として具体的に国、県に要望を

したことはないが、議員各位の意見を市長、副市長とも協議したい。

放課後児童クラブについて

問 放課後児童クラブの利用料は平成27年度より現行のひと月2000円から、4000円、8月の夏休みは8000円になるとの説明であった。現在利用している方は、十分な説明もないまま利用料が倍となり、憤慨されている。今回、利用料金を変更した根拠はなにか。

答 現在、放課後児童クラブの運営費は約2297万円である。財源の内訳としては、利用料が約222万円、補助金が約832万円、一般財源が約1243万円である。市としては、新制度により指導員を常時2人配置する必要があることによるさらなる経費の増大、及び県下の状況を勘案し、通常月は利用料4000円、8月は利用時間が8時間半となるため、通常月の倍8000円とした。ただし、市民税の非課税世帯については半額とした。利用料改定については、もう少し早い時期から段階的に見直しすべきであった。なお、利用料などの放課後児童クラブについての通知は、小学校を通じて文書により保護者全員に通知した。

要望 日本は高齢者に手厚いが、子育てしている方には非常に厳しい。少子化対策としては、子育てや保育サービスの向上、仕事と保育の両立をしているというのが実現されていない。放課後児童クラブの運営費が2200万円ぐらいなら利用料は取らないという検討をして頂きたい。

ウォーキングコース整備事業工費について

説明 工事請負費1209万9千円は、駅前から港付近までの新川沿い道路をウォーキングコースとして整備するもので、照明灯や情報案内板等の設置を考えている。

問 夜間に散歩される方が多いので照明灯の設置は必要だと思うが、散歩するのは市外から来た方ではなく、市内の住民がほとんどなので看板の設置は必要ないのではないか。

答 J-Rを使って来た市外の方が、大通りを通るのではなく、新川沿いを歩いてもらうことも見どころの一つと考え、案内看板を設置する。また、健康維持のためウォーキングされている方のために、距離数やカロリー数を表示した看板を3、4カ所設置したいと考えている。

問 照明灯と看板の設置でこのような高額になるのか。

答 照明灯と看板以外に、現在、愛媛県がサイクリング推奨ルートを明示するブルーラインを整備しているが、このウォーキングコースにも同様のカラー舗装を整備したいと考えている。

問 カラー舗装とは、歩行しやすいアスファルト舗装も行うのか。それともラインを引くだけなのか。また、照明灯に係る電気代については、その地区の負担となるのか。

答 目印になるようなラインを引く程度で考えている。安全面については、設計の中で十分検討する。また、照明灯の電気代については、今回は国の交付金事業で街路灯を工事するため、市が支払うことになる。

議会改革委員会報告

上田 浩志 委員長

平成27年3月18日、第6回議会改革特別委員会を開催し常任委員会の任期、常任委員会の委員定数について協議した。これまでに議会運営委員会で東温市議会・須崎市議会に視察に行き、また議会事務局研究会代表の高沖秀宣氏を講師に迎え議員研修会も行った。

常任委員会の委員定数は平成25年8月の改選で議員定数を19人から16人に削減したため、3議員が複数の常任委員会を兼務する形になっており「公平を期すため次期の任期では、今と異なる議員が兼務する」「委員会構成は議長に一任する」といった意見が出た。その結果、常任委員会の委員定数は現行のまま、総務委員会7名、民生文教委員会6名、産業建設委員会6名を維持することを決め、常任委員会の任期も現行通り2年間とすることも全会一致で決定した。

行財政問題特別委員会報告

石崎 久次 委員長

意見書の提出について

電源立地地域対策交付金の内給付金交付助成事業に係る交付限度額算定対象地域の見直しを求める意見書の提出について

国においては発電用施設の設置に係る地の理解促進等を図ることを目的に、電源立地地域対策交付金として、発電用施設の立地地域・周辺地域の公共施設整備や住民の福祉の向上に資する事業に対して、交付金交付事業を実施されている。

このうち給付金交付助成事業は、原子力発電所の所在及び隣接市町村において、一般電気事業者などから電気の供給を受けている一般家庭、企業等に対し、電気料金の実質的な割引措置を行う事業であり、これまで所在町である伊方町、隣接町である旧瀬戸町、旧保内町及び隣々接町である旧三崎町に対し交付されてきたところである。

このような中、平成17年3月28日に旧八幡浜市及び旧保内町が合併し、新八幡浜市が誕生し10年が経過するが、給付金交付事業の交付限度額算定対象地域は、合併以前の市町の枠組みのままであり、同一市内において、対象地区と対象外地区が存在する状況となっている。

当市のまちづくりを進めて行く中で、各地区の均衡ある発展が重要であり、給付金交付助成事業について格差の解消を図るため、交付限度額算定対象地域の見直しを強く要望する。

3月定例会 審議結果

番号	件名	審議結果
請願第6号	伊方原発を再稼働させないことを求める請願について	審議未了
請願第7号	避難計画が策定され住民の安全が保障されるまで、伊方原子力発電所3号機の再稼働をしないことを求める意見書提出についての請願書	審議未了
報告第1号	専決処分の報告について（訴えの提起について）	報告
報告第2号	専決処分の報告について（市道大平高野地線において発生した接触事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について）	報告
報告第3号	専決処分の報告について（国道56号線において発生した接触事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について）	報告
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議のな い 答申
同意案第1号	名誉市民の選定について	原案同意
議案第1号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案第2号	第3次八幡浜市行政改革大綱の策定について	原案可決
議案第3号	訴訟上の和解について	原案可決
議案第4号	八幡浜市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第5号	八幡浜市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第6号	八幡浜市地域審議会設置条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議案第7号	八幡浜市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第8号	八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第9号	八幡浜市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第10号	八幡浜市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第11号	八幡浜市母子家庭医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第12号	八幡浜市障害者施設いきいきプチファーム設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第13号	八幡浜市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

議案第14号	八幡浜市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第15号	八幡浜市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第16号	八幡浜市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第17号	八幡浜市地域包括支援センターの運営及び人員に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第18号	八幡浜市農業委員会の選任による委員の団体推薦に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第19号	八幡浜市水道事業に従事する企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第20号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第21号	八幡浜市通学費補助金交付条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第22号	八幡浜市立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第23号	八幡浜市立学校体育施設使用料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第24号	市立八幡浜総合病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第25号	平成26年度八幡浜市一般会計補正予算（第7号） 予算額 △6,326万2千円	原案可決
議案第26号	平成26年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） 予算額 △538万6千円	原案可決
議案第27号	平成26年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 予算額 △2,215万6千円	原案可決
議案第28号	平成26年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算（第4号） 予算額 △1,035万5千円	原案可決
議案第29号	平成26年度八幡浜市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号） 予算額 △167万4千円	原案可決
議案第30号	平成26年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号） 予算額 △2,120万円	原案可決
議案第31号	平成26年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号） 予算額 △1,493万9千円	原案可決
議案第32号	平成26年度八幡浜市小規模下水道事業特別会計補正予算（第1号） 予算額 30万3千円	原案可決
議案第33号	平成26年度八幡浜市港湾整備事業特別会計補正予算（第1号） 歳出予算の組み替え	原案可決
議案第34号	平成26年度八幡浜市水道事業会計補正予算（第2号） 予算額 △3,247万2千円（歳出ベース）	原案可決
議案第35号	平成26年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算（第3号） 一般会計負担金 29,927千円追加	原案可決
議案第36号	平成27年度八幡浜市一般会計予算 予算総額 19,810,431千円	原案可決
議案第37号	平成27年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計予算 予算総額 6,024,761千円	原案可決
議案第38号	平成27年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計予算 予算総額 550,476千円	原案可決
議案第39号	平成27年度八幡浜市介護保険特別会計予算 予算総額 4,267,894千円	原案可決
議案第40号	平成27年度八幡浜市介護サービス事業特別会計予算 予算総額 40,115千円	原案可決
議案第41号	平成27年度八幡浜市日土財産区特別会計予算 予算総額 799千円	原案可決
議案第42号	平成27年度八幡浜市駐車場事業特別会計予算 予算総額 45,598千円	原案可決
議案第43号	平成27年度八幡浜市簡易水道事業特別会計予算 予算総額 169,725千円	原案可決
議案第44号	平成27年度八幡浜市公共下水道事業特別会計予算 予算総額 2,094,406千円	原案可決
議案第45号	平成27年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算 予算総額 110,490千円	原案可決

議案第46号	平成27年度八幡浜市小規模下水道事業特別会計予算 予算総額 26,874千円	原案可決
議案第47号	平成27年度八幡浜市水産物地方卸売市場事業特別会計予算 予算総額 56,310千円	原案可決
議案第48号	平成27年度八幡浜市港湾整備事業特別会計予算 予算総額 84,789千円	原案可決
議案第49号	平成27年度八幡浜市水道事業会計予算 予算額 1,081,102千円(歳出ベース)	原案可決
議案第50号	平成27年度市立八幡浜総合病院事業会計予算 予算額 5,883,818千円(歳出ベース)	原案可決
議長発議	予算特別委員会設置の件	原案可決
	予算特別委員会委員の選任 委員長 新宮康史 副委員長 竹内秀明 委員 西山一規、佐々木加代子、岩淵治樹、平家恭治、河野裕保、石崎久次、樋田都、 上田浩志、井上和浩、遠藤素子、宮本明裕、山本儀夫、大山政司、萩森良房	議長指名
議案第51号	八幡浜市・保内町新市建設計画の変更について	原案可決
請願第17号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	不採択
請願第18号	住民の安全・安心を支える国の公務・公共サービス体制の充実を求める請願書	不採択
請願第19号	伊方原発を再稼働させないことを求める請願について	継続審査
請願第20号	「南海トラフ大地震が起きても伊方原発の安全が保障されることが明らかになるまで伊方原発の再稼働をしない」ことを求める意見書採択を求める請願	継続審査
報告第4号	専決処分の報告について(国道56号線において発生した接触事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について)	報告
同意案第2号	監査委員の選任について	原案同意
議員提出議案第1号	八幡浜市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
委員会提出議案第1号	電源立地地域対策交付金の内給付金交付助成事業に係る交付限度額算定対象地域の見直しを求める意見書の提出について	原案可決
	議会閉会中における継続審査について	原案可決
	所管事務調査について	原案可決
	議員の派遣について	原案可決

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。 そのほかについては全員賛成で可決されました。

議席		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
議案番号	氏名	西山一規	佐々木加代子	竹内秀明	岩淵治樹	平家恭治	河野裕保	石崎久次	樋田都	新宮康史	上田浩志	井上和浩	遠藤素子	宮本明裕	山本儀夫	大山政司	萩森良房	
	議案第2号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	○
議案第8号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
議案第13号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
議案第14号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
議案第15号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
議案第16号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
議案第17号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
議案第20号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
議案第25号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
議案第36号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
議案第51号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		○
請願第17号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○		×
請願第18号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○		×
同意案第2号	可	無記名投票 賛成12 反対3																
委員対提出第1号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	

【○：賛成 ×：反対 大山政司議長は採決に入っていません】

議 会 日 誌 (H 26.12.19 ~ H 27. 3. 1)

◆ 委員会活動状況

- 1月6日 議会だより編集委員会開催
- 19日 議会運営委員会開催
- 26日 総務委員会開催
- 2月4日 産業建設委員会行政視察(北海道北広島市・小樽市)(~6日)
- 13日 総務委員会開催
- 18日 議会運営委員会正副委員長事前協議
- 19日 議会運営委員会行政視察(広島県府中市・山口県柳井市)(~20日)
- 23日 議会運営委員会開催

◆ 庶務関係

- 12月28日 議長及び総務委員会正副委員長が市内消防夜警に出席(~30日)
- 1月3日 正副議長及び各議員が成人式に出席
- 5日 正副議長及び議員が八幡浜青年会議所新年祝賀会に出席
- 6日 議長が新春消防査閲式に出席
- 8日 南予市議会議長会監査のため宇和島市議会議長及び同事務局長が来庁
- 9日 議長が八幡浜市青少年補導員会新年懇親会に出席
- 10日 議長が西予市合併10周年記念式典に出席(西予市)
- 11日 議長が大洲市合併10周年記念式典に出席(大洲市)
- 19日 議長がみなと祭 祭の在り方委員会に出席
- 20日 副議長が八幡浜市体育協会新年会に出席
- 20日 議長が全国自治体病院経営都市議会協議会正副会長・監事・相談役による要望活動に参加(東京都)(~21日)
- 22日 副議長及び議員が愛媛県市議会観光振興議員連盟広域観光推進研修会に参加(大洲市)
- 22日 議長が全国自治体病院経営都市議会協議会正副会長・監事・相談役会議に出席(出雲市)(~23日)

- 23日 副議長が八幡浜市観光協会臨時総会に出席
- 24日 議長及び議員が八幡浜市社会福祉大会に出席
- 28日 正副議長が第61回南予市議会議長会定期総会に出席
- 30日 千葉県勝浦市議会3名が行政視察のため来庁
- 〃 正副議長及び議員がシーフードセンター八幡浜試食会に参加
- 31日 議長が自民党愛媛県第四選挙区支部平成27年賀詞交歓会に出席(宇和島市)
- 2月1日 正副議長及び議員が10回市民健康マラソン・第10回八幡浜駅伝カーニバルに出席
- 4日 議長が八幡浜市消防団大島分団夜警に出席
- 5日 議長が第3回八幡浜市誌編纂委員会に出席
- 6日 議長が全国広域連携市議会協議会第46回総会に出席(東京都)(~7日)
- 7日 副議長が内子町合併10周年記念式典に出席(内子町)
- 8日 議長が日土ふるさと祭りに出席
- 11日 議長がやわはま産業まつりに出席
- 12日 議員が八幡浜市議会議員研修会に出席
- 15日 議長が楽スポGOやわはまスポーツクラブ設立総会に出席
- 17日 議長が市議会議員共済会第109回代議員会に出席(東京都)(~18日)
- 21日 正副議長及び議員が平成27年度八幡浜市人権・同和教育研究大会に出席
- 25日 議長及び正副産業建設委員長が南予水道企業団議会定例会に出席(宇和島市)
- 3月1日 議長が、八幡浜高校定時制卒業証書授与式に、副議長が八幡浜高校卒業証書授与式に、民生文教委員会委員長が八幡浜工業高校卒業証書授与式に、民生文教委員会副委員長が川之石高校卒業証書授与式に出席
- 〃 副議長が、第30回富澤赤黄男顕彰俳句大会に出席

3月28日 やわはま祭のころ



感謝状

八幡浜市議会殿

貴団体は八幡浜市議会において「八幡浜ちゃんぽん振興条例」を可決し、八幡浜ちゃんぽんの普及と八幡浜市の地域振興に大きく貢献されました。

よってその功績に対して記念品を贈呈し感謝の意を表します。

平成二十七年三月二十八日

八幡浜商工会議所青年部

会長 氏間貴則



市議会議員研修会

開催日時

平成27年2月12日 午後2時～

演 題

地方議会のあり方と議会改革について

講 師

三重県地方自治研究センター上席研究員
議会事務局研究会共同代表

高 沖 秀 宣 氏

議員有志で八幡浜第一防空壕を視察



八幡浜第一防空壕は、空襲による八幡浜市民の避難場所として、昭和15年12月29日に着工し、約3ヶ月の工期を経て、昭和16年2月16日に竣工し、2月22日に落成式が行われた。

防空壕は西側入口上部に白タイルに焼付けられた名称が貼り付けられていて、収容人員は20名。2ヶ所の出入口があり、トイレ、洗面所、神棚が備えられ、天井、壁面、床面は全てコンクリートで施工されるなど、相当な力を入れて建設した事が分かる。

太平洋戦争末期の昭和20年3月以降、八幡浜市は小型機によって数度の重爆撃を受けた。防空壕は市民の避難のほか、近くにあった病院の薬品庫として使われた。戦後は手前に貝ボタンの製造工場が建設されたため、人目に触れることは無くなり、忘れられた存在となっていた。

た存在となっていた。

しかし平成13年、手前にあった工場を壊したところ、その背後から防空壕が当時のままの姿を現して話題となった。

現在は、地元町内会の有志で結成された幸会のメンバーが防空壕の管理、顕彰をしている。

(参考資料)「八幡浜新聞」「南海日日新聞」



編集後記

無事に解放してほしい。その願いも空しく湯川遙菜、後藤健二の両氏が、テロ組織によって殺害された事実を、バルカン(旧ユーゴスラヴィア)の地方都市のホテルのテレビで知った▼悲しみを抱きしめながら、ボスニア・ヘルツェゴビナのモスタルのホテルから一步踏み出すと、内戦(1992〜95年)で破壊された建物が今も数多放置され、レストランの壁面、教会の鉄扉に弾痕が生々しく残っている▼民族紛争の残滓は、バルカンの男たちの眼に宿り、眼光は未だにボタンから解放されぬままの鋭さをハリルホジッチのように保持している。それに、武人然とした立ち居振る舞も印象深い。バルカンの置かれた古代以来の複雑な歴史に根ざしているのだろう▼旅の最終日、モンテネグロの港町コトルの夕映えに出合えて、やっと一息つけたのだった。

河野裕保

《議会だより編集委員会》

委員長	西 山 一 規
副委員長	竹 内 秀 明
委員	佐々木 加代子
委員	平 家 恭 治
委員	河 野 裕 保
委員	樋 田 浩 志
委員	上 田 浩 志

八幡浜市議会事務局
TEL (代) 22-3111

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。

八幡浜市議会 検索